



河中だより

○実力を養う
○友愛を深める
○品性を高める

《第22号》

2025年1月21日発行

宇都宮市立河内中学校

校長 森下 薫

学校が再開されました

冬休みが明け、8日（水）から学校生活が再開されました。生徒達は、落ち着いた中で学校生活を送っており、授業はもちろん、3年生は高校入試に向けて、1・2年生は係活動、部活動に全力で取り組んでいます。令和7年が、生徒の皆さんにとってより良い年になるよう、毎日の学校生活を精一杯取り組んでほしいと思います。



三者懇談・教育相談を行いました

8日（水）から16日（木）まで、三者懇談・教育相談を行いました。3年生の三者懇談では、県立高校入試に向けて最後の確認をしました。特色選抜・一般選抜において自分の力が100%発揮できるよう、残りの日々を過ごしてください。1・2年生の教育相談では、これまでの振り返りと進級に向けての話をしました。進級後の自分をイメージし、自覚をもって4月までの日々を送りましょう。



3年生 私立高校入試が続いています

受験は団体戦…互いに切磋琢磨し、学級や学年の雰囲気の良い状態で入試に臨んでください。

新年を迎え、4日（土）から私立高校の入学試験が始まりました。第1回入試の結果が出て、ほっとしている人もいるかと思います。今後、第2回をチャレンジする人がいますし、県立高校の特色選抜まであと17日です。3年生の皆さんには、時間に流されることなく一日一日を大切に過ごしてほしいと思います。私立高校に進学を決めた人は、卒業までの間、受験によるプレッシャーから解放されることとなりますが、進学後のことを考えて、この後も気を抜かず学習を続けてください。また、これからが本番の人も多くいますので、その仲間が力を発揮できるようサポートをお願いします。

学校保健・給食委員会を開催しました

16日（木）午後1時15分から図書室において、学校保健・給食委員会を開催しました。今年度の学校保健及び給食の取組について説明をしました。後半は、「歯並びと姿勢の関係」について講話をいただきました。お忙しい中、学校歯科医、薬剤師の先生方、そしてPTA代表の皆様、ご出席ありがとうございました。引き続き、学校保健・給食へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



小学6年生の中学校訪問がありました

17日（金）の午後、本校入学予定の小学6年生が中学校に来ました。学校長あいさつ、生徒会役員からの学校紹介に続いて、5校時の授業の様子を参観し、放課後の部活動を見学しました。6年生一人一人が、中学生の活動の様子に興味深く見ていました。見学を通して、河内中学校の良いイメージが膨らんでくれればうれしいです。中学校入学まであと3か月、6年生の皆さんの入学を楽しみにしています。



健康・安全を最優先に

この冬は、1999年から統計をとり始めて以来、インフルエンザの1医療機関あたり患者数が最も多いとの報道を耳にしました。令和6年末から減少しているものの、栃木県内では警報レベルが続いています。引き続き、新型コロナを含めた感染防止に十分努めてください。

一方で、本校生徒の「自転車の乗り方」については事故防止のため改善が必要です。多くの生徒は、ルール・マナーを守って登下校ができていますが、一部の生徒で、安全に乗ること、地域の方の迷惑にならない行動ができていません。周りに車や人がいなくても正しいことを実践できる人になってほしいと思います。このことが、自他の命を守るとともに、通学路にお住まいの方への配慮になります。河内中学校生徒のことを思ってくださいの方々のためにも、今日から改善してください。

毎日の生活の中で、自分の力を最大限に発揮させるには健康な生活を送ること、安全な行動をとることが第一です。このことを日頃から意識して、家庭生活、学校生活を送るようにしましょう。